

各団体等の取組みについて

科学的根拠に基づくがん予防・
がん検診の充実
(がん予防・早期発見、早期受診)

(公財)香川県総合健診協会

●がんに関する正しい知識の普及啓発

・子宮頸がん予防イベント

子宮頸がん検診の大切さとHPVワクチン接種について、特に若い世代に楽しく学んでもらうことを目的として、7月28日(日)に丸亀町レッツホールで忽那賢志氏(感染症医)、荻田和秀氏(産婦人科医)を招いての講演会や丸亀町壱番街前ドーム広場でウイリアムス浩子氏やSWJO NY-Comboとのジャズセッションを開催した。今後も、AYA世代を対象とした正しい知識の普及啓発に効果的なキャンペーンやイベントを展開したい。

・リレー・フォー・ライフ・ジャパン(RFLJ)かがわ高松の活動

がん経験者やご家族、ご遺族、支援者の皆さんを称え、地域全体でがんと向き合い、がん征圧を目指す、年間を通じて取り組むチャリティ活動の総括として、9月28日(土)～29日(日)にサンポート高松でリレー・ウォークを行う。当日は、日本対がん協会垣添忠生会長の講演や地元の音楽愛好家による応援ソングコーナーなどを予定している。この活動を通じて全国から集まった寄付金は、がんの悩み相談室やがんの啓発セミナー、若手医師育成支援などに役立てられている。

香川県臨床検査技師会

●全国「検査と健康展」

・全国『検査と健康展』inフジグラン丸亀(令和6年9月16日)
がん予防に関するパネル展示を実施予定

・全国『検査と健康展』(令和6年11月2日)
香川県立保健医療大学大学祭と共催。
がん予防に関するパネル展示、パンフレット配布を予定

がんとともに尊厳を持って安心
して暮らせる社会の構築
(がんと共生)

がん患者会ネットワークかがわ

●がんに関する研修会の開催

- ・県からの情報提供を各患者会に連絡し共有する
- ・全がん連からの連絡の共有
- ・各患者会と協働した講演会等の実施

（各患者会の取組み）**肺がん患者サロン なでしこ**

・隔月開催：オンライン交流会、会報誌年4回、茶話会

2018年9月から香川、岡山県で女性の肺がん患者・家族のための患者会を始めました。5年間の活動から感じたことは、どれだけ医学や治療法が進歩しても、がん患者や家族が孤独と不安に悩むことはなくなるということなのです。

治療の繰り返しと生活の両立に不安や困難を感じながらも、患者会活動を5年間継続できた私たちだからこそ、そんな患者さんやご家族に希望や勇気を届けることができると考えます。

また患者会がどんなことしているのか、あまり知られていない現状から、講演会を通して理解を深めていただきたいと強く思い、6月23日サンポートホール高松で「がん患者交流会・1年後の自分へ手紙を書こう」を開催しました。県外から講師4名招聘（他県の患者会代表、呼吸器内科医師）後援は香川県、がん患者会ネットワークかがわ。

6/12読売新聞掲載、8/2ヨミドクター掲載

-----今後の予定-----

オンライン交流会・セミナー

8月25日(日)呼吸器内科医「肺がん・チーム医療」

10月19日(土)理学療法士「がんリハビリ」

-----学会関連-----

10/31～11/2肺がん学会PAP(パシフィコ横浜)

11/9～11/10北海道患者会周年記念(札幌KKR)

11/23～11/24がん患者学会(国がん中央病院)

がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築
(がんと共生)

さめきの絆

・4月から香川県立中央病院での活動を再開。

・毎月一回交流会や、県中のドクター始め、様々な専門分野の皆様、治療や療養生活に必要な講演をして頂く予定。

・コロナ禍で普及したzoomにも県中の支援を受けて、挑戦中。

・交流会では、きめ細やかなグループ分けをすると、ピアサポーターの数が不足しますので、会員の皆様にはもちろん、交流会等に参加された方にも、県のピアサポーター研修を周知していきたい。

がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築（がんと共生）

乳がん患者会 あげぼの会香川支部

・乳がん相談会（乳腺専門医による相談会）

事前に乳腺専門医に聞きたい質問を、代表の東までしていただき、相談会当日に回答。また質問に回答後、その場での質問も可能です。（年3～4回。次回は11月予定）

香川がん患者おしゃべり会

・電話、ラインメールによる相談業務を実施。

がんサバイバーが受けた相談に寄り添うとともに、必要に応じて医師や看護師、ケアマネージャーなどの専門家につなぐ。

これらを支える基盤の整備（人材育成、がん教育）

香川県看護協会

●がんに関する研修会の開催

昨年度は現場の要望等を踏まえ、がん看護として、令和5年9月に「がん薬物療法中のセルフケア支援」11月に「地域での療養生活と看取りを実現するための最適な看護介入とQOLの維持向上」令和6年1月に「外来における在宅療養支援能力向上のための研修」を開催した。延べ41施設から98名が参加した。

今年度は、「がん医療の現状とがん治療における看護」「がん患者を家族にもつ家族ケア」「外来における在宅療養支援能力向上のための研修」の研修を企画し、受講が容易になるようオンライン研修も導入し開催予定である。

●がん教育ゲストティーチャーへの協力

・教育委員会から依頼があり、昨年度は、小・中学校11校20クラスに17名のがん看護専門看護師等を派遣した。

・今年度は、小・中学校16校26回の要望があり、20名のがん看護専門看護師等を紹介した。

・7月6日にはゲストティーチャー担当者会を開催し、模擬授業のあと、情報交換及び情報共有を行った。

当会として、担当者会での意見等を踏まえ、今後さらに学校におけるがん教育の外部講師としての役割が担える体制について、検討していく予定である。

香川県薬剤師会

●喫煙防止教室

香川県学校薬剤師会を中心に香川県予防医学協会と協力して、小学校を中心に学校薬剤師による喫煙防止教育の出前講座を行っている。

●薬物乱用防止の資材作成

多くの学校薬剤師が自分の担当校で薬物乱用（喫煙防止を含む）防止教室が出来るよう、今年度、小学生対象の、大麻を含む薬物乱用防止とタバコの害についてのパワーポイントの作成をした。その中で、喫煙とがんについても指導していく。（香川県においては小学校での薬物乱用防止教室の開催率は40%弱で全国に比べて低い状況にある。）